

編集後記

敬心・研究ジャーナル第7巻第2号をお届けします。今回の巻頭論文は職業訓練、職業能力開発研究の第一人者である、職業能力開発総合大学校名誉教授の田中萬年先生にお願いしました。以前私自身「職業能力開発」と「職業教育」という言葉について、どのように違うのだろうと漠然とした思いを持ったことがありました。その間いをそのままにしていたのですが、今回「天職能力開発」という考え方を知り、理解が深まりました。

論文中の「ある職業を選ぶことは天職を目指しており、その人が自立に向けた決意をしたことでもあり、自分の進路を自分で決定したということを讃るべきである。その前に、自分が生まれて今生きているという事の自己肯定から始まり、今後も自らの力で生きていくという決意を意味しているからである。」という一節に深く共感いたしました。

本号はその他にも2本の原著論文、1本の評論、4本の研究ノートを掲載しております。いつもにもまして敬心・研究ジャーナルらしさのある、様々な領域からの発信になっておりますので、ぜひお読みください。また先日行われました職業教育研究集会の様子をお伝えすべく、座長報告とシンポジウムの内容も掲載しておりますので、併せてごらんください。

(副編集委員長 阿久津 撰 (日本児童教育専門学校))

今号も論文をご執筆・ご投稿いただいた先生方、そして査読委員の先生方に、毎号の言葉となりますが、お礼申し上げます。学ばせていただきありがとうございますございました。編集後記を記載しながらいつも関係者各位への感謝を感じております。

多くの論文は、J-STAGE への掲載もしております弊誌ですが、世の流れ、SDGs、紙媒体から電子媒体への検討を開始いたしましたこと、ご報告させていただきます。何れかのタイミングで発行形式を変更する可能性がありますことご了承いただき、引き続きの研究発表先としてご活用いただけますと幸いに存じます。移行いたします際は、ホームページなどでご案内をさせていただきます。

そして弊学園では、研究発表先としての弊誌とならび、口演（オンライン形式）で研究発表いただく職業教育研究集会を実施しております。本誌内に概要報告しておりますが、分科会は特定分野の専門的研究を深めることではなく、隣接領域の様々な実践などを情報交換、先の学習支援に繋げることを想定し、キーワード・キー概念をグループ化することを試みております。学園の教職員ならびに客員研究員による発表は年々発表数も増え、間もなく来年度開催準備も開始予定です。原稿ご執筆と併せて、口演発表もご検討いただけますと幸甚に存じます。

(編集事務局担当 杉山 真理)

〈お知らせ〉

弊ジャーナル第2巻第2号の巻頭総説『「心の健康」「ひきこもり」研究小史』をご執筆いただき、また査読委員としても多くのご教示をいただきました高塚 雄介先生（「ひきこもりの理解と支援」遠見書房刊 編著者）が、先日永眠されました。心よりのお礼を申し上げ、ご冥福をお祈りしつつ、ここにお知らせいたします。

(敬心・研究ジャーナル編集委員会 一同)

— 「敬心・研究ジャーナル」査読委員一覧（50音順：敬称略）（2023. 12. 1現在） —

阿久津 撰	安部 高太郎	天野 陽介	伊藤 正裕	稲垣 元	井上 修一
今泉 良一	上野 昂志	王 瑞霞	大川井 宏明	大谷 修	大谷 裕子
岡崎 直人	小川 全夫	奥田 久幸	小澤 由理	小関 康平	川延 宗之
菊地 克彦	木下 美聡	近藤 卓	坂野 憲司	佐々木 清子	寫末 憲子
島津 淳	白川 耕一	白澤 政和	杉野 聖子	鈴木 八重子	武井 圭一
東郷 結香	永嶋 昌樹	橋本 正樹	浜田 智哉	町田 志樹	松永 繁
水引 貴子	南野 奈津子	宮嶋 淳	八城 薫	安岡 高志	行成 裕一郎
吉田 志保	吉田 直哉	渡邊 眞理			

— 「敬心・研究ジャーナル」学校法人敬心学園 編集委員会（2023. 12. 1現在） —

委員長	小川 全夫	（職業教育研究開発センター、九州大学名誉教授、山口大学名誉教授）
副委員長	阿久津 撰	（日本児童教育専門学校）
学術顧問	川延 宗之	（大妻女子大学名誉教授）
委員	小泉 浩一、黒木 豊域、浜田 智哉	（日本福祉教育専門学校）
	阿部 靖、柴田 美雅	（日本リハビリテーション専門学校）
	稲垣 元、王 瑞霞、住吉 泰之	（日本医学柔整鍼灸専門学校）
	有本 邦洋	（東京保健医療専門職大学）
	水引 貴子、木下 美聡	（客員研究員）
事務局	杉山 眞理	（職業教育研究開発センター）

〈執筆者連絡先一覧〉

人間的発達支援としての天職能力開発

— 職業教育への偏見と誤解を解く観点 —
職業能力開発総合大学校名誉教授 田中 萬年
E-mail: tanaka1mannen@yahoo.co.jp

失語症者における動詞の理解力

— 多義性を親密度の視点から評価して —
熊本リハビリテーション病院 濱田 雄仁
〒869-1106 熊本県菊池郡菊陽町曲手760
熊本リハビリテーション病院 リハビリテーション部
言語聴覚科
E-mail: t-hamada@kumarcha.jp

コロナ下における「介護留学生」の生活と健康

— 日本福祉教育専門学校の留学生を対象とした配布票調査から —
日本福祉教育専門学校 齊藤 美由紀
E-mail: m-saito@nipku.ac.jp

『学習権宣言』をどう理解し、実践するか。その1

— 「学習権」とは何か、それは何を意味するのか。 —
大妻女子大学名誉教授、職業教育研究開発推進機構・代表
理事、敬心学園 職業教育研究開発センター 学術顧問
川廷 宗之
E-mail: kawatei@rdipa-vet.org

高度成長期の生涯教育論に対する持田栄一の論駁

大阪公立大学 吉田 直哉
〒599-8531 堺市中区学園町1-1
大阪公立大学大学院現代システム科学研究科
E-mail: naoya_liberty@yahoo.co.jp

長期滞日外国人ムスリム高齢者の介護施設入居に伴う障壁に関する研究

— 長期滞日ムスリムの信仰実践の障壁と困難を基にした検討 —
岩手県立大学 松永 繁
〒020-0693 岩手県滝沢市菓子152-52
岩手県立大学 社会福祉学部
E-mail: shigeru_m@iwate-pu.ac.jp

促通による即時効果が実感できる運動プログラムの有効性（その2）

早稲田大学 非常勤講師 包國 友幸

介護福祉士養成における実務者研修（通信課程）の実態調査
三幸福祉カレッジ 小林 桂子